

「地域防災 × ジェンダー平等」 について考えよう



日時 令和6年2月4日(日)13時30分～15時

場所 男女共同参画センターコムズ・5階会議室5

発表者 松山工業高等学校 ボランティア団体
「チーム Save Our Future」

コーディネーター (公財)松山市男女共同参画推進財団
理事長 桐木 陽子
(松山東雲短期大学 教授)



地域防災 × S D G s

みんなで守る地域の未来プロジェクト ～Save Our Future～



グループワークの様子



昨年度から始まったコムズフェスティバル「高校生イベント」。今年度は、松山工業高校、松山東高校、松山北高校、新田高校、第一学院高校から18名の高校生と地域防災に関心のある大人10名が参加されました。

発表者である松山工業高等学校「チーム Save Our Future」様は2018年西日本豪雨災害時に、防災ボランティアとして発足し、小・中学校で防災出前授業を行ったり、SDG sのイベントに参加して防災グッズをイベントの参加者と一緒に製作したりと精力的に活動されています。

今回の発表に向け「『地域防災』×『ジェンダー平等』」というテーマでの2回の学習会に参加し、準備を進めてくださいました。

発表は、実際の避難所の写真などを示しながら、どこにジェンダー問題があるか参加者に問いかけていく参加型で進み、女性も男性も安全安心な避難所生活を送るための問題提起をさせていただきました。

現在の女性に関する避難所での課題

- 1 女性の場所問題
女性の着替え、授乳、下着の干す場所など
 - 2 男女の性別役割分担意識
「炊き出し」は女性の役割など
 - 3 女性の避難所運営への参加
女性用品のを男性が配布、女性の考えが反映されにくいなど
- 今回は特にこの3つの課題について考えます



理解をさらに深めるために、発表後、コーディネーターによる講義を経て、グループに分かれて3つのテーマで話し合いました。*出された意見は最右列のパネルをご覧ください。

参加者の感想

10代
女性

災害時にジェンダーギャップが拡大し、何が起ころのかを知ることができ、これからの備えに何を加えるべきか考えるよい機会になった。

日常生活にひそんでいるジェンダー問題について考えるきっかけになった。

違う高校の同世代の高校生と話すことがあまりないので、ジェンダー問題について話すことができてよかったです。

10代
男性

ジェンダーについて深く学べる機会になった。

10代

普段あまり考えないようなジェンダーバイアスのことや、今起きている石川での地震の避難所での問題について深く考えられた。

20代
女性

普段関わることのない世代の方や職業の方たちとグループワークの時間が有意義だった。

30代
女性

大人への啓発になったと思います。高校生を集めるのは大変だと思いますが、引き続き応援しています。

40代
男性

私の勤務先で今年度から社内の防災担当（DRR事務局員）として活動しています。高校生が地域防災に取り組んでいる所を見たいと思いました。今度は企業としても一緒に企画出来たら良いと思います。

60代
女性

高校生がしっかり学んでいることを実感した。

70代
以上
女性

高校生の活躍が頼もしい。社会は変わっていくでしょう。

集合写真



グループワークでは、普段触れ合うことの少ない他校との交流によって、たくさんのアイデアが出ていました。今回のイベントを通して、ジェンダーに関する新たな学びや活動に結びつけていきたいという思いを強くくださったようです。皆さんにとって、実りの多い貴重な機会となったのではないのでしょうか。